

# 口腔・鼻腔吸引

痰や鼻水・よだれが溜まりやすく、自分でだせないため、吸引が必要です。1歳までは主に鼻呼吸です。痰や鼻水やよだれは喉の奥に落ちてしまい、呼吸がしにくくなったり、間違っ



肺に入ってしまうことがあります。吸引をして楽に呼吸ができるようにしてあげましょう。

## 準備

### 1. 必要物品の準備

- 1) 聴診器
- 2) 吸引器 (パワースマイル)



図1 パワースマイル

- 3) 吸引カテーテル
- 4) ティッシュなどチューブを拭くもの
- 5) 吸い上げ用の水 (水道水で可)
- 6) ふた付き容器2つ (吸い上げ水を入れるものと吸引チューブ保管用)

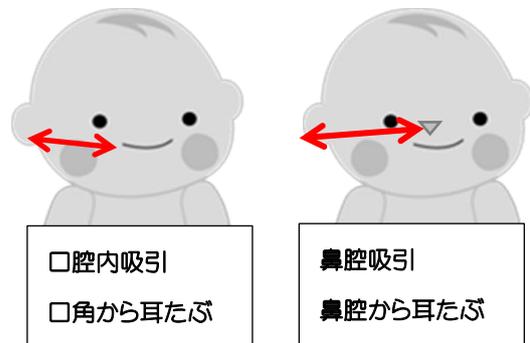
### 2. 吸引体勢を整える

- 1) 手をきれいにしましょう。
- 2) 聴診器で胸の音を聞き、ぶつぶつという音がどこに一番多いか確認します。もしくは胸に手を当ててみてください。痰が溜まっている部分は緻細な振動が聞こえます。
- 3) 吸引器に吸引カテーテルをつなぎ電源を入れ、作動するか、吸引圧はあっているか (チューブの接続部を折り曲げると圧がわかる) 確かめましょう。



★ポータブル吸引器の圧は、吸引物の性状によって調節しましょう。  
目安として **10~16kPa** です。

- 4) 体勢を整えましょう。手足の動きが激しいときはバスタオルでくるむとよいでしょう。
- 5) 挿入長さを確認します。



## 吸引方法

### 1. 吸引してみましょう

- 1) 利き手でカテーテルの挿入長さ+ 2～3 cm の位置を持ちます。反対の手の親指でカテーテルを折り曲げて吸引圧がかからないようにします。



- 2) そのまま口または鼻の孔からチューブを挿入します。（挿入するときは吸引しません）



- 3) 折り曲げていた親指を放し、分泌物が吸引されていることを感じながら、くるくると回しながら吸引カテーテルを引き抜きます。



呼吸が苦しくならないために、1回の吸引時間は10秒以内です。吸引する側も息を止めてみましょう。



- 4) 聴診器で胸のぶつぶつ音を確認するか、手で胸を触ってみて、吸引前にあった音や振動が消えているかどうかを確認します。
- 5) 痰やよだれが多いとき、1回で十分に引ききれない時は、繰り返します。（呼吸が苦しそうな時は、少し間隔をあけて落ち着かせてから行います。）

### 2. 観察しましょう。

- 1) 吸引物がいつもより黄色や緑色をして汚かったり、ねばねばしてなかったか
- 2) 吸引回数がいつもより多くないか
- 3) 吸引後顔色がわるくなっていないか

→「こんなときは・・・」へ

### 3. 片付けましょう。

- 1) 吸引カテーテルをティッシュなどで拭き、吸い上げ用の水を吸って、カテーテル内の痰や鼻水を吸引ビンに流しましょう。
- 2) (水滴をティッシュなどで拭き) カテーテルをふたつき容器にしまいます
- 3) 水を通して痰が残ってしまうときは、カテーテルの交換や延長カテーテルの洗浄をしてください。
- 4) 吸引器の電源を切り、後片づけをしたら、手をきれいに洗います

吸引後カテーテルを拭いているつもりでも、吸い上げ用の水は細菌汚染（常在菌含む）されます。吸い上げ水は毎回取り換えることが理想ですが、最低でも毎日 1 回は取り換えましょう



## 使用物品の消毒・交換

### 1. 消毒

消毒前に食器用洗剤で洗い、有機物を落とす→ミルトンなどに 1 時間つけおく→乾燥

1 日一回行うもの

- 1) 吸引チューブ
- 2) 容器 2 個
- 3) 延長チューブ
- 4) 吸引ビン

\*吸引器で外して洗えるところは毎日しましょう

### 2. 交換

- 1) 吸引チューブ：硬化や破損した場合
- 2) 延長チューブ：汚れが取れなくなったら
- 3) 吸引器：圧がかからなくなったら業者に連絡



「こんなときは・・・」



## 分泌物が引けない！

1. 吸引器の圧はあがっていますか？

【対応】

- ①吸引器のチューブ先端をさわり吸引圧がかかっているか確認。
- ②電源やバッテリーの状態も確認

2. 分泌物が粘調ではありませんか？

【対応】①加湿器をかける吸入器を持っているのであれば煮沸水で吸入する

- ②口腔ケアをして口腔内を湿らす
- ③摂取する水分量を増やす

### 肺のグーグーやプツプツ音がとりきれない！

1. 鼻づまりの音ではありませんか？

【対応】鼻先のグーグーした音や下顎を拳上して消失すれば分泌物ではありません。呼吸が楽な姿勢を工夫しましょう。

2. 分泌物が粘調ではありませんか？

【対応】「分泌物がひけない！」の 2 と同様の対応をしましょう。

3. 肺の奥深いほうに分泌物がある可能性があります。

【対応】音が強い方の肺を上にするように横向き体勢にしたり、うつぶせにするなど体位をかえましょう。

時間を短くし、酸素濃縮器を持っている場合は酸素の流量を上げて対応してみましょう。

### 嘔吐した！

【対応】嘔吐直後は体を横向きにし、誤嚥を防ぎます。口腔内に嘔吐物があれば軽く吸引し除去しましょう。次回からは

- ①食後や注入後の吸引はさける。どうしても必要な時は 10 秒よりも短い時間で行う。
- ②チューブを通常よりも浅く（短く）挿入する。を心がけましょう。

### 血性のものがひけた！

吸引圧が高い、もしくは粘膜をチューブでつついて傷つけていませんか？

【対応】血液は鼻汁や唾液と混じって多く見えます。吸引圧を下げたり 1 回の吸引時間を短くして対応しましょう。出血量が増えたり連日出血するようであれば受診しましょう。

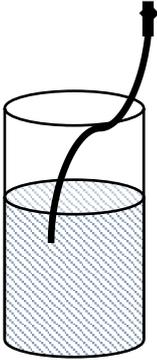
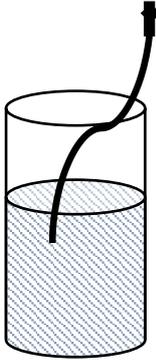
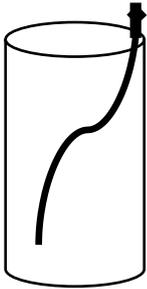
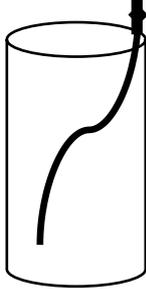
### 吸引したら顔色が悪くなった！

1. 一時的な低酸素状態です

【対応】自発呼吸があるのであれば顔色や Spo2 値の回復を待ちましょう。回復が悪いときは人工呼吸を装着するか、アンビューバックを使用し呼吸を補助しましょう。次回吸引時は吸引

気管吸引をするかたは、鼻口腔吸引と手技を間違えないようにしましょう。

<在宅での、吸引チューブの取り扱い>

	気管内吸引		口鼻腔吸引
①	吸引後、吸引カテーテルをティッシュで拭きます (拭く目的:分泌物を拭きとり、吸い上げ用水の汚染を最小限にするため)	①	吸引後、吸引カテーテルをティッシュで拭きます
②	吸い上げ用の水(水道水)を吸います ※水は口鼻腔用とは別に準備します	②	吸い上げ用の水(水道水)を吸います
			
③	アルコール綿でチューブを拭き、ふた付きの空容器に保管します (拭く目的:チューブの水滴をとるため。気管吸引用チューブは可能な限り清潔保持)	③	ティッシュでチューブを拭き、ふた付きの空容器に保管します
			
	※保管容器は口鼻腔用とは別に準備します		

<容器の洗浄について>

\* 容器は1日1回、食器用洗剤で洗いましょう。

\* 保管用の空容器(③)は、洗浄後しっかり乾燥させてから使用しましょう。

容器洗浄・乾燥中も吸引が必要な場合は計8個の容器が必要になります。